

## 構造計画の方針

- ・構造体は大地震動後、大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られることを目標とします。
- また多様な学習内容・形態に対応できる可変性のある空間を有した計画とします。

| 耐震安全性の目標          | 構造体 | 建築非構造部材 | 建築設備 |
|-------------------|-----|---------|------|
| 学校機能              | Ⅱ類  | A類      | 乙類   |
| 避難施設機能<br>※アリーナなど |     |         |      |

## 設備計画の方針

- ・メンテナンスや将来的な改修の容易さなど、維持管理に配慮します。
- ・高効率機器などを採用し、ランニングコストを低減します。
- ・「ZEB Ready」を目指した設備計画を構築します。
- 災害時の「避難所」としての役割を担うことのできるバックアップ体制を構築します。

## 防災機能

- ・指定緊急避難場所（地震時のみ）及び指定避難所として計画します。
- ・安全で丈夫な建物づくりをするとともに、マンホールトイレや非常用電源などの避難設備を整備します。



かまどベンチ



マンホールトイレ

## 環境配慮

- ・本計画においては生駒市の「ゼロカーボンシティ」宣言、エコスクールの考え方のもとエネルギー消費量を 50% 以下まで削減する ZEB Ready を目指します。
- ・施設面・教育面・運営面の 3 つの視点から環境配慮計画について検討します。



庇やルーバーによる日射遮蔽

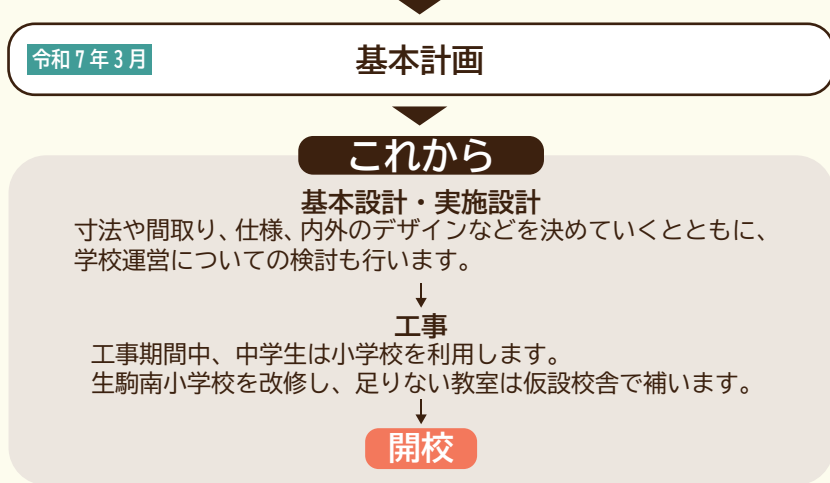
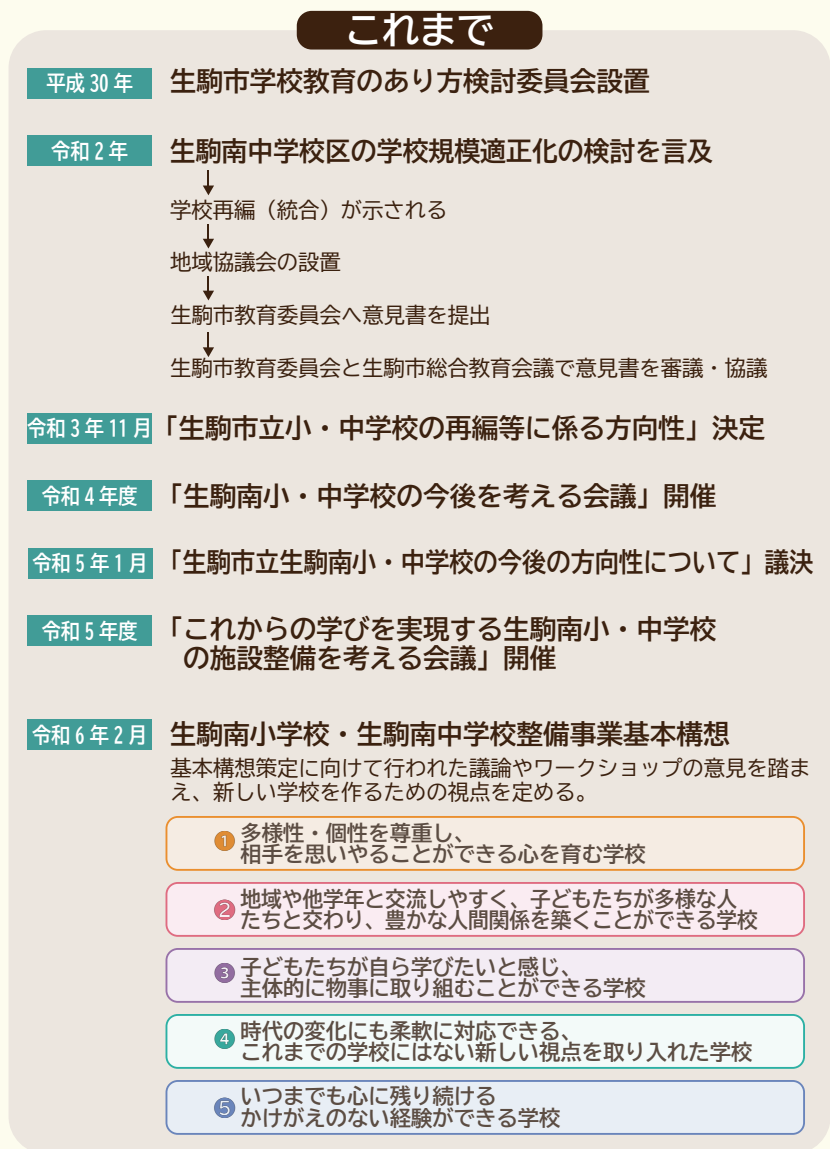


太陽光発電設置の検討

## 事業スケジュール

|           | 令和7年度       | 令和8年度            | 令和9年度 | 令和10年度      | 令和11年度     |
|-----------|-------------|------------------|-------|-------------|------------|
| 設計<br>許認可 | 基本・実施設計、許認可 |                  |       |             |            |
| 建設<br>工事  |             | 校舎建設、サブグラウンド整備   |       | メイングラウンド整備  |            |
| 学校<br>運営  |             | 南小学校にて小学校・中学校を運営 |       | 新校舎供用<br>開始 | 全体供用<br>開始 |

## これまでとこれから



### お問い合わせ

生駒市教育委員会事務局  
教育総務課  
TEL：0743-74-1111



令和 7 年 3 月策定

# 生駒南小学校・生駒南中学校 施設一体型整備事業基本計画

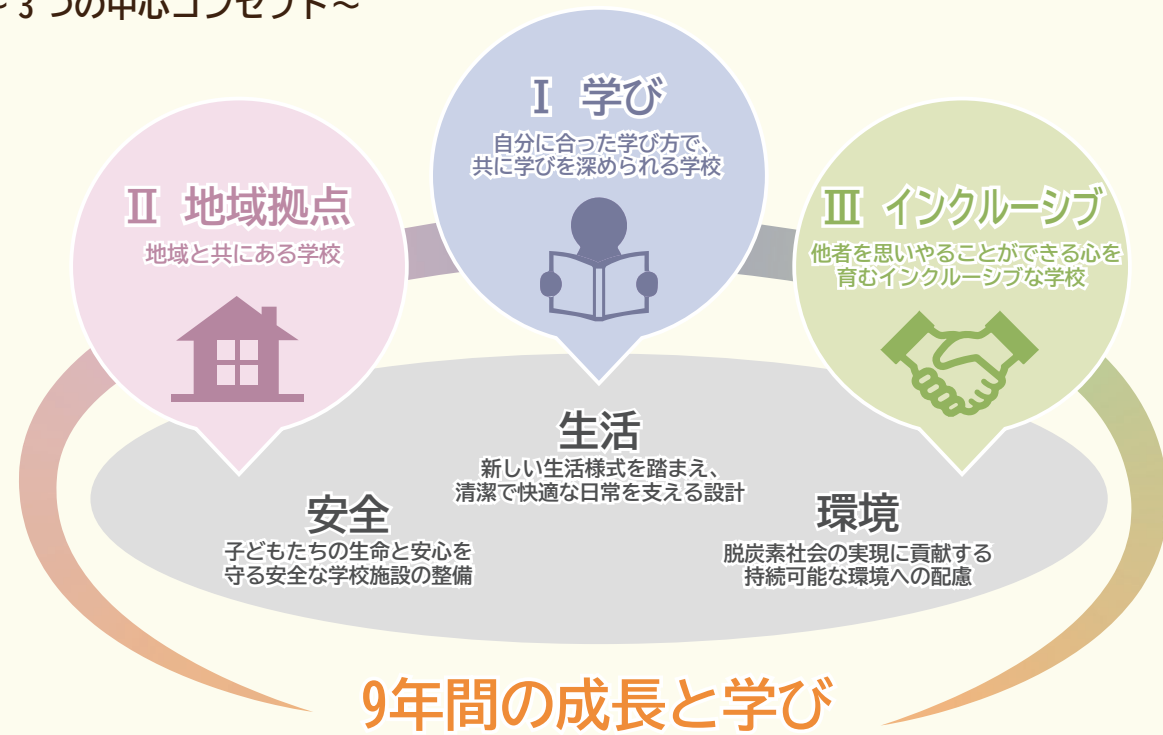
全国的な少子化の傾向と同様に、児童生徒数の減少が見込まれる中でも、子どもたちが「学び合い、高まり合える」環境を保障するため、生駒市では、平成 30 年度から様々な議論を重ねてきました。

これまでの経緯を整理し、生駒南小学校・生駒南中学校整備事業基本構想や第 3 次生駒市教育大綱を踏まえながら、小中一貫教育を行う学校としての学びや交流、防災などの必要機能の整理を行うとともに、保護者や地域の方々の声を反映した建設地における敷地利用や施設配置の方針について基本計画をまとめました。

## 校舎づくりコンセプト

## すべての人にとっての「学び」と「交流」の拠点

～ 3 つの中心コンセプト～



### Ⅰ【学び】：自分に合った学び方で、共に学びを深められる学校

子どもたちが自ら学びたいと感じ、主体的に物事に取組むことのできる学校を目指した設計とします。また、子どもたちが多様な人たちと交わり、豊かな人間関係を築くために、日常的に他の学年との交流が生じるような教室設計・配置とします。

### Ⅱ【地域拠点】：地域と共にある学校

学校はまちの公共施設であるという考え方にに基づき、地域の人たちが気軽に利用できる空間を設置し、多様な仲間と共にいつまでも心に残り続けるかけがえのない経験ができる学校を目指します。

### Ⅲ【インクルーシブ】：他者を思いやることのできる心を育むインクルーシブな学校

ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが心地よく過ごせる施設の中で、子どもたちがリラックスして学び、先生たちが動きやすい環境を目指します。

## 生駒市教育委員会

コンセプトを踏まえた学校づくりのイメージ

I. 学び

①多様な学びに対応できる可変性のある環境  
②みんなが自然と集まり、楽しく学び個性を発揮できる場  
③探究的・協働的な学びを支援する学校

①自由度の高い空間イメージ（五城目小学校）

II. 地域拠点

①多様な年齢の人たちが共に学び、共に遊び、交流できる学校  
②地域の人たちとの安全安心な交流  
③生駒南地区の「まちの拠点」

①地域の人も利用可能な図書室イメージ（早来学園）

III. インクルーシブ

①ダイバーシティ&インクルージョンの推進  
②死角の少ない、開放性をもつつ「一人にもなれる」学校  
③すべての子が通いやすい学校

①デンイメー（糸魚川小学校）

安全

①子どもたちが共に安心して過ごせる学校  
②防犯安全性の確保  
③学校事故を防止する安全対策の徹底

③転落防止手摺イメージ

生活

①子どもたちの生命を守る空調・衛生環境  
②学校全体が光と風に包まれる健康的な校舎  
③温もりを感じる居心地よい空間

③温もりを感じる居心地よい空間イメージ（山南中学校）

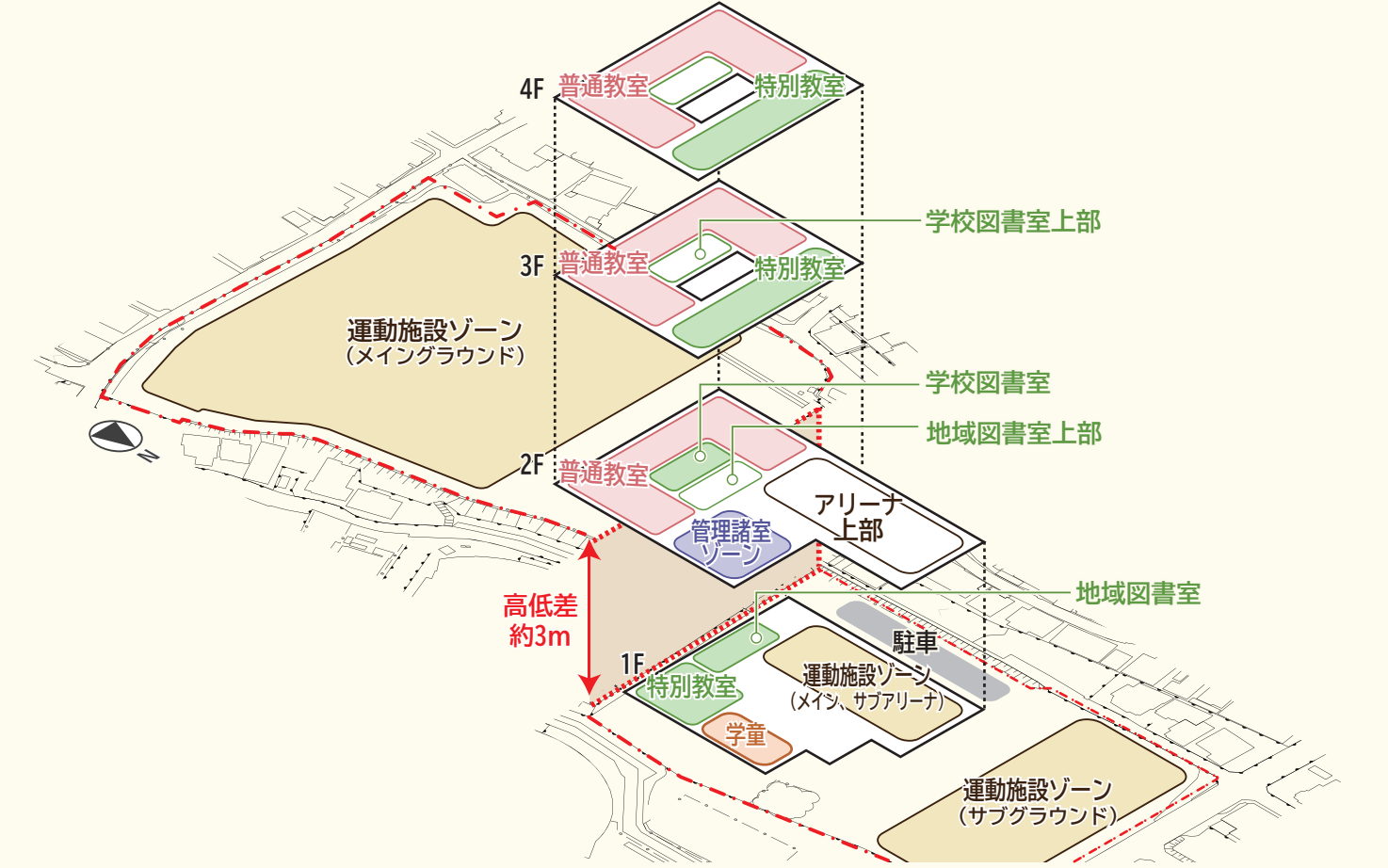
環境

①環境モデル都市・脱炭素先行地域としての学校づくり  
②子どもたちの環境学習  
③カーボンニュートラルの実現に貢献する校舎

③環境学習に活かすエコパネルイメージ（生駒北小学校）

施設構成の方針

図書室を中心に回遊性ある計画とし、利用しやすく教室や多目的スペース、特別教室などとの視覚的なつながりを感じられる校舎とします。



普通教室ゾーン

・日当たりや通風に配慮します。  
・普通教室との連携・交流に配慮した多目的室・特別支援教室の配置とします。

管理諸室ゾーン

・教職員が児童生徒への対応を行いやすく、各教室や特別教室に移動しやすい位置にまとめて配置します。

運動施設ゾーン

・地域開放を考慮して1階に屋内運動場を配置します。  
・大小2つのグラウンドを設け、安全に使い分けができる配置とします。

特別教室ゾーン

・地域開放の優先度が高い特別教室は1階に配置します。

駐車ゾーン

・歩車分離を確実にし、敷地内に来客用駐車場を配置します。

学童保育施設ゾーン

・校舎内に配置します。

計画地概要と施設配置の方針



敷地について

・現在の生駒南小学校及び生駒南中学校の敷地を計画地とします。  
・小学校と中学校の敷地境界に3m程度の高低差があります。  
・小学校と中学校の敷地内には緑地（モリさん）があります。

敷地周辺について

・北側は、2車線歩道付きの道路（大登藤尾線）に接しています。  
・南側は、1車線一部歩道付きの道路（国道308号線）に接しています。  
・東側には南コミュニティセンターがあります。

敷地利用方針

・建設可能高さや周辺環境などを考慮し、敷地中央に校舎を配置します。  
・メイングラウンドとサブグラウンドの2つの屋外活動空間を計画します。  
・建物にアクセスしやすい位置に来客用駐車スペースを設けます。  
・2か所の緑地（モリさん）は保全します。

動線方針

・2車線の北側道路を主要な出入口とします。  
・歩行者動線と車両動線を明確に分離した安全な計画とします。  
・南側道路に通学用の通用門、及び緊急車両が進入可能な出入口を設けます。  
・敷地中央の段差部分に設けた建物により、南北の段差をバリアフリーとします。

所要室の利用形態

普通教室ゾーン

・1-2年生は多目的スペースを取込んだ教室とし、教室内に水廻りや書架、ロッカーを設けます。  
・3-9(中3)年生のロッカーは多目的スペースに設置し、教室内の掲示面の確保などによる学習環境の充実を図ります。  
・教室内外に気持ちを落ち着かせたり、くつろいだり、交流、対話のできるデンを設けます。  
・多目的室・特別支援教室は、8学級程度に分割できるよう考慮します。

管理諸室ゾーン

・教室に入りづらい児童生徒が、安心して過ごせるスペシャルサポートルームを配置します。  
・スヌーズレンルーム（感覚をやさしく刺激し、心地よさを得るスペース）やカームダウンスペース（区切られた小さな空間で、気持ちを落ち着かせるスペース）、教師のワーキングスペースとして利用できるサポートルームを配置します。  
・保健室は、前期課程・後期課程で分割利用可能とするとともに、トイレ、シャワーなどのアメニティスペースを併設した計画とします。

運動施設ゾーン

・体育授業や学年集会などの同時利用を考慮し、アリーナは2室にて計画します。  
・メイン、サブアリーナは災害時の避難所となることから、備蓄倉庫を併設します。

特別教室ゾーン

・教科への関心や学習意欲を誘発する教科メディアスペースを計画します。  
・図書室は、どの教室からも利用しやすい学校の中心に配置します。  
・階段教室は、探究学習における発表や学年集会、地域イベント利用にも活用可能な配置とします。  
・ランチルームは、給食だけでなく、学習や交流など多目的に利用できるようにします。

学童保育施設ゾーン

・校舎と同時に再整備します。